雨竜川ダム環境検討委員会設立趣意書

雨竜川ダム再生事業は、石狩川水系雨竜川河川整備計画［変更］に基づき、近年雨竜川において頻発する洪水災害から地域社会を守るため、既設ダム（雨竜第１ダム・雨竜第２ダム）を有効活用する「ダム再生事業」として令和５年度より建設に着手した。

事業としては、両ダムの利水容量の一部を洪水調節容量に振り替えるとともに、雨竜第２ダムの嵩上げにより洪水調節容量を確保し、新たに治水機能を付加するものである。

事業を行う地域は道立自然公園であり、希少な動植物も有していることから、事業の実施による環境への負荷をできる限り回避又は低減することを目的に本事業による環境への影響を予測及び評価し、必要に応じて保全措置等を検討することとした。

そこで、自然環境に精通した有識者からなる「雨竜川ダム環境検討委員会」を設置し、環境保全についての配慮が適正に行われるように指導、助言を得た上で、検討結果を「雨竜川ダム環境保全への取り組み（雨竜川ダム環境レポート）」として取りまとめ、事業の進捗に応じて保全措置等を確実に実施し、自然環境と共生したダムづくりを目指すものである。